



2025年2月14日

各 位

会社名 株式会社 C & G システムズ
代表者名 代表取締役社長 塩田 聖一
(コード: 6633 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理統括部長 小島 利幸
(TEL. 03-6864-0777)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり資本コストや資本収益性について現状を評価・分析し、改善に向けての取組み方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状評価

直近5年間の ROE、PBR、期末株価の推移は以下のとおりです。

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
ROE	2.3%	8.1%	10.1%	2.2%	3.9%
PBR	1.15倍	1.09倍	1.11倍	0.95倍	0.86倍
期末株価	311円	320円	356円	308円	290円

当社グループでは、本年度を最終年度とした中長期事業方針を掲げ、指標を「2018年の水準から2025年に向けての年平均成長率5%」「2025年経常利益率20%」「2025年ROE15%以上」としておりました。

ROEについては、2023年に事業環境の悪化により業績が低調に推移し2.2%となりましたが、2023年第3四半期に底を打って以降、2024年度は総じて緩やかな回復が続いたことから、前年同期との比較では増収増益となり、ROEは3.9%に回復しました。しかしながら上記のROE指標の15%からは大きく乖離した結果となりました。

PBRについては前年同期をさらに下回り、期末では0.86倍となりました。EVシフトの方向性の不透明感により対象市場である金型関連市場で設備投資に慎重な姿勢が継続している中、前年同期との比較で業績は回復したものの、株式市場での評価改善には至らず、期末株価も前年同期を下回り290円となりました。

2. 改善に向けた今後の方針

当社は2025年1月17日付「純粋持株会社体制への移行に伴う会社分割（新設分割）による子会社設立および単独株式移転による中間事業持株会社の設立ならびに株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・エンジニアリングシステムズ【以下「NTTD-ES社」】の吸収分割会社（予定）【以下「NDES社」】の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、より一層の経営のスピード化を図り、機動的かつ柔軟な経営判断を可能にするグループ運営体制を構築し、グループガバナンスをさらなる強化を図るため、純粋持株会社体制に移行いたします。また傘下には中間事業持株会社およびCAD/CAM中核子会社2社を保有するCAD/CAM業界トップシェアの企業グループとなります。CAD/CAMメーカーとしての技術革新を中核に据え、「製造業DXインテグレーターへと進化」することで、すべてのお客様及び未来の日本の製造業を広く支えるとともに、培った日本のモノづくり技術を東アジアやASEAN地域に浸透させ、市場の多角化を図り、その後、欧米市場へのグローバル展開を進めていきます。

(1) 新体制での活動概要

当社およびNTTD-ES社との連携による「製造業DXインテグレーター」としての活動概要としては以下のとおりです。

1. 技術革新を中核としたCAD/CAM/CAEソフトウェアにおける自動化推進のための要素開発(AI開発を含む)を共同で進めます。
2. 両社の技術を融合し金型加工だけでなく、金属加工への展開をコア事業として進めます。
3. 型設計時に解析システムと連携することで、試作を減らし、そして俗人化していた製造ノウハウをクラウド上に蓄積し、AIを活用して型設計から製造までの工程を自動化する機能開発を共同で進めます。
4. 製造能力を高めるため、製造実績モニタリングを行い、各設備からの実績収集を行い、得られた情報を基に、生産管理システムを核としたFA事業展開を行うスマートファクトリー構想をクラウドサービスとして提供し、お客様の投資抑制にも繋がります。
5. 両社が持つ知見と先端技術を融合し、次世代の情報インフラに取り組むことでデジタルツインの早期実現と自動化を目指します。
6. この事業で培ったノウハウを東南アジア、ASEAN地域に浸透させ、欧米市場も見据えてグローバル展開を進めます。

またこれらの活動を推進した上での短期および中長期の事業計画目標は、以下のとおりです。

短期(～2028年)事業計画目標

組織再編に伴い金型CAD/CAM業界のトップシェアの優位性を活かして、生産管理システム事業の強化と共にシナジー戦略を推進し、グループ全体で売上高70億円企業を目指す。

中長期(～2030年)事業計画目標

CAD/CAM事業を中核に、新規事業強化戦略の一環としてCGSグループの拡大を積極的に実施し、グループ全体で売上高100億円企業を目指す。

なおNDES社の当社グループ加入による収益への貢献は2025年10月以降となります。上記活動内容の詳細については引き続き検討・討議を重ね、決定した内容については順次お知らせいたします。

(2) 安定的な株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つとして位置づけており、これまでも安定的な配当の継続を基本方針として株主還元を行ってまいりました。今回の組織再編以降もその位置づけは変わらず、企業体質の強化と将来の事業展開の内部留保の充実を図りながら、今後も配当性向40%を目安に安定的な株主還元を継続します。

(3) IR/PRの継続・強化

これまで実施してきたIR/PR活動を継続・強化することで当社グループの認知度向上を図ります。純粋持株会社として、グループ各社の情報を適切に発信するとともに、これまでと同様、決算説明動画配信による経営情報の発信、機関投資家との対話の継続・強化と経営幹部への適切なフィードバックを行ってまいります。またホームページについてもリニューアルを検討しており、開示情報のさらなる充実、積極的な発信に努めてまいります。

以上